**世界トップレベル研究拠点プログラム**

**平成30年度公募　二次審査申請書**

**ホスト機関のコミットメント**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日　付

　文部科学省　宛

ホスト機関名

ホスト機関の長の役職・氏名

署名

　「世界トップレベル研究拠点プログラム」に申請した「　（拠点名）　」に関し、同申請が採択された際は、以下の事項について責任をもって以下のとおり具体的に措置していくことを確認する。

**＜具体的措置＞**

※　以下のそれぞれの事項について、具体的措置を記載すること。

1. **当該拠点が真に「世界トップレベル研究拠点」となり、支援終了後に自立化するよう、ホスト機関は、****当該拠点をホスト機関の中長期的な計画上に明確に位置付けた上で、助成期間中から機関を挙げて全面的な支援を行うこと。**

※当該拠点のホスト機関の中長期的な計画上における位置づけについて記載すること。

1. **ホスト機関は、当該拠点をホスト機関内の恒久的な組織として位置付け、自立的に運営していくために必要となる既存組織の再編等を含むホスト機関の中長期的な組織運営の方向性に係る基本方針の表明及び今後の具体的な計画・スケジュールの策定を行い、それを着実に実行すること。**

※ホスト機関の中長期的な組織運営の方向性に係る基本方針と今後の具体的な計画・スケジュールの両方について記載すること。

1. **当該拠点の運営及び研究活動の実施のために必要な人的、財政的及び制度的支援を行うこと。**
2. **本プログラムの実施期間が終了した後も、当該拠点が自立化し、「世界トップレベル研究拠点」であり続けるために必要な支援を行うこと。**
3. **拠点運営に一定の独立性を確保するため、「拠点構想」実施にあたって必要な人事や予算執行等に関し、拠点長が実質的に判断できる体制を整えること。**
4. **機関内研究者を集結させ、必要な環境整備を実現するにあたり、ホスト機関内の他の部局における教育研究活動にも配慮しつつ、調整を積極的に行い、拠点長を支援すること。**
5. **機関内の従来の運営方法にとらわれない手法（英語環境、能力に応じた俸給システム、トップダウン的な意志決定システム、大学院教育との連携　等）を導入できるように機関内の制度の柔軟な運用、改正、整備等に協力すること。**
6. **拠点の活動に必要となるインフラ（施設（研究スペース等）、設備、土地等）を確保、提供、拠出すること。**
7. **その他、当該拠点が「拠点構想」を着実に実施し、名実ともに「世界トップレベル研究拠点」となるために最大限の支援をすること。**
8. **ホスト機関は、当該拠点が達成した成果を自己評価し、ホスト機関自らが優れた取組として評価したものについて、ホスト機関全体への展開・波及を図ること。**
9. **すでにWPIプログラムによって形成された拠点を持つホスト機関については、既存の拠点を世界トップレベル拠点として維持・発展させるための十分な支援を行い、また、新たな拠点への十分な支援と、既存の拠点への支援の継続を両立させること。**

※既存のWPI拠点を有するホスト機関のみ記載すること。

**12) すでにWPIプログラムによって形成された拠点を持つホスト機関については、既存の拠点の優れた**

**成果を、自主的かつ積極的にホスト機関全体に波及させ、機関自らの改革につなげること。**

※既存のWPI拠点を有するホスト機関のみ記載すること。